



省エネ・創エネ・蓄エネ 最新動向

<ビル編> & <住宅編> & <街づくり編>

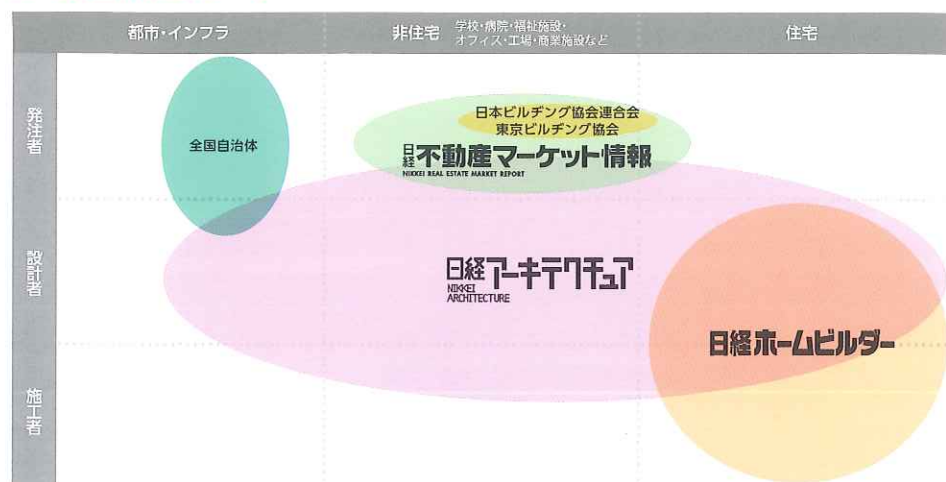
「エネルギーをどう扱うか」は現代の都市・まちの大きな課題であり、都市・まちを構成する建築物にとってもそれは同じです。ランニングコスト削減の手段としても、また、環境配慮や電力の安定供給といった社会的な役割を果たすという意味においても、「省エネ・創エネ・蓄エネ」のソリューション抜きに、もはや建築主を満足させる建物をつくれないういえます。

こういった状況をふまえ、プロジェクト エコー・シティでは、6月に引き続き、「省エネ・創エネ・蓄エネ」をテーマとした特別編集版を発行いたします。

今年から変更される住宅・建築物の新しい省エネルギー基準や、それに伴う様々な制度改正の最新情報をお伝えするほか、6月発行の際に反響が高かった住宅・ビル・まちそれぞれの最新事例をボリュームアップして掲載し、建設業のプロである設計・施工者から、自治体・ビルオーナーなどの発注者までお届けいたします。

是非、当プロジェクトの主旨にご賛同いただき、本特別編集版へのご出稿をご検討いただけますようお願いいたします。

建設業に従事するプロフェッショナルに加え、自治体・経営者・ビルオーナーなどの発注者にもリーチ



最新情報は、AD WEBをご覧ください。 <http://adweb.nikkeibp.co.jp/>

2013
テーマ別 特別編集版
12月

■発行部数:約60,000部

- 1 日経アーキテクチャ 12/25号
読者全数へ同梱
35,051部
(設計事務所、ゼネコン等)
- 2 日経ホームビルダー 1月号
読者全数へ同梱
20,077部
(工務店等)
- 3 日経不動産マーケット情報 2月号
読者全数へ同梱
1,668部
(デベロッパー、ビルオーナー等の発注者)
- 4 全国ビルオーナー
1,530部
(日本ビルディング協会連合会、東京ビルディング協会に加盟するビルオーナー全数)
- 5 全国の自治体首長への別送
約1,800部
(自治体の発注者)

「プロジェクト エコー・シティ」とは

「エコー・シティ (ECHO CITY=Eco Conscious and Human Oriented City)」とは、「環境と人が響き合う街」という意味の造語です。街を「土地・不動産」「エネルギー」「ICT (情報技術)・制御」「建築」「コミュニティ」「インフラ」など各ステージの積み重ねとして捉え直し、ステージを貫く「つながり」を訴求することによって姿を現す街が「エコー・シティ」です。そして、環境に最大限配慮しながら、そこで生活する人々や働く人々に幸せをもたらす新しい街づくりを目指すアクションが「プロジェクト エコー・シティ」です。日経BP社の建設系メディアは共同で、このアクションを推進しています。



編集予定

※内容は予告なく変更になる場合がございます。

省エネ・創エネ・蓄エネ最新動向

<ビル編> & <住宅編> & <街づくり編>

住宅編、ビル編、街づくり編 それぞれのフェーズで構成いたします。新しい制度の解説や、前回好評いただいた最新事例を豊富に取り上げます。

●【最新制度解説】

4月から変更された「非住宅」の省エネ基準に加え、10月から変更される「住宅」の省エネ基準について、徹底解説。
これに伴い、今年度中に改正を予定している「住宅性能表示制度」、「長期優良住宅の認定基準」、「フラット35Sの認定基準」などの最新動向もレポート。

●【キーワード・動向解説】

省エネ・創エネ・蓄エネ関連の関連用語、トレンドなどを解説。

■エネルギーハーベスティング(環境発電技術)

■デマンドレスポンス

■BEMS/HEMS/MEMS、太陽光発電 関連機器・サービスなどを予定

広告企画「LED照明」

※別紙詳細企画書をご用意しております。
出稿特典としてパブリシティがつきます。

●【事例紹介】

住宅、ビル、街づくりのそれぞれで先端的な取組事例を紹介。

■住宅編

低炭素住宅の認定住宅、住宅のゼロ・エネルギー化推進事業の採択案件など

■ビル編

ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化に向けたゼネコンの戦略、事例紹介

■街づくり編

福島県:2015年まで太陽光を中心に導入を拡大、その後は風力発電を伸ばし、2040年までにエネルギー自給率100%を目指す自治体の戦略、事例紹介

●【注目製品・サービス】

注目の製品や技術・サービスを紹介。

※最新情報は、AD WEBをご覧ください。 <http://adweb.nikkeibp.co.jp/>

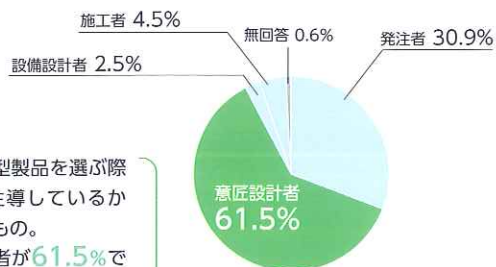
広告対象

- 屋根関連部材……………遮熱塗料、遮熱シート、屋上緑化、太陽光パネル、トップライト、膜、ポリカーボネート など
- 開口部関連部材……………断熱サッシ、内窓、遮熱フィルム、Low-e複層ガラス、ブラインド、ルーバー、オーニング
ひさし など
- 創エネ・蓄エネ……………太陽光発電システム、蓄電池、発電機、太陽熱、エネファーム、風力、地中熱システム など
- 照明……………LED照明、高効率蛍光灯をはじめとした省電力照明、自動調光システム、
太陽光採光装置 など
- 空調・給湯……………冷暖房設備、空調・換気設備、高効率給湯器 など
- 外壁関連部材……………断熱材、壁面緑化、木質パネル など
- システム関連……………BEMS、HEMS、エレベーター、エスカレーター など
- その他 グリーンリース など、省エネ・創エネ・蓄エネに関連する建材・設備全て

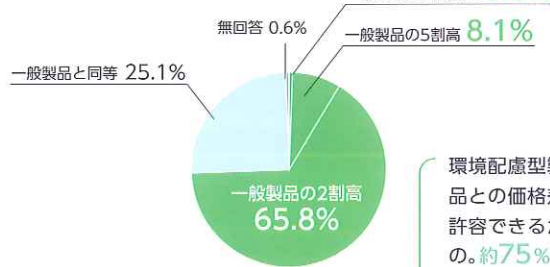
環境配慮型製品へのニーズは、設計者からも発注者からも、まだまだ増え続けています。

意匠設計者が環境型製品の選択を主導

大半が「2割以上高くても環境配慮型」



環境配慮型製品を選ぶ際に、誰が主導しているかを尋ねたもの。
意匠設計者が61.5%で最も多い



環境配慮型製品と一般製品との価格差をどこまで許容できるかを尋ねたもの。
約75%が2割以上高くても許容している

～2012年秋の日経アーキテクチュア読者調査より

プロジェクト全体スケジュール

2013年

本誌特集・連載



建設・不動産各誌で、プロジェクト エコ・シティ関連記事や、街づくりに関わる様々な業界のキーパーソンへのインタビュー等を掲載し、環境や人に配慮した街づくりの在り方を読者へ提言

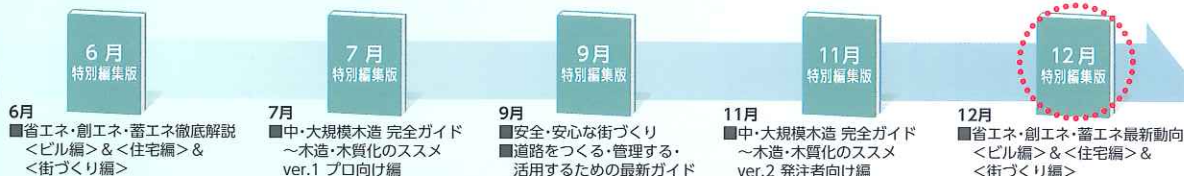
1社協賛型特別編集版

エコ・シティに関連する様々なテーマで、協賛社様のプロダクトや概念をまとめた冊子を発行。時期は協賛社様との間で調整。



テーマ別特別編集版

2013年の重点テーマ毎に、下記スケジュールで特別編集版を発行。(複数社協賛型) ※それぞれ個別の企画書をご用意しております。



Webサイト

本誌・特別編集版に掲載した関連記事を掲載。建設・不動産の総合サイトケンプラッツの読者を中心に広い層に向けて情報発信します。



イベント

その他、国内およびアジア地域でのセミナーやマッチングイベント等を企画中です。
※詳細はお問い合わせください。

1年間の活動の集大成

プロジェクト エコ・シティ 2013 勉強会・総集編

リアルにつながるビジネスマッチングを実現

議論するテーマは、協賛社様のリクエストを受けて参加者間で協議の上、決定します。

貴社ビジネスにマッチしたテーマを設定し、官公庁、デベロッパー、設計事務所、建設会社、メーカー、大学など、産学官のキーパーソンとリアルに“つながる”場を提供いたします。

幅広いターゲットへの情報発信

産学官のキーパーソンと共に掲載した内容は、日経BP社の建設・不動産各誌をはじめ、経営者層をカバーする日経ビジネスの一部読者、全国自治体首長に宛てて、情報発信します。

※10月18日までにお申し込みいただいた場合、2013年11月25日開催の勉強会に参加いただけます。



媒体概要

●発行時期:2013年12月 ●発行部数:60,000部 ●体 裁:A4変型、60ページ程度(予定)

スケジュール

- 日経アーキテクチュア 12月25日号 同梱 (12月20日売)
 ●日経ホームビルダー 2014年 1月号 同梱 (12月19日売)
 ●日経不動産マーケット情報 2014年 2月号 同梱 (1月19日売)

- 申込締切日 11月18日(月)
 ■タイアップ勉強会申込締切日 10月18日(金)
 ■タイアップ取材締切日 11月 8日(金)
 ■オフラインデータ締切日 12月 4日(水)
 ■オンラインデータ締切日 12月 6日(金)

メニュー&料金(税別)

A:純広告

表4	1,600,000円	4色1/2ページ よこ	700,000円
表2見開き	2,800,000円	4色1/3ページ たて	450,000円
第2表2見開き	2,500,000円	白黒2/3ページ たて	600,000円
4色1ページ	1,200,000円	白黒1/2ページ よこ	500,000円
4色2/3ページ	900,000円	白黒1/3ページ たて	300,000円

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、基本料金:30万円/ページ(税別)となります。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。

B:タイアップ

日経BP社 建設局プロデューサーによる

「トップインタビュー」または「製品フォーカスインタビュー」

- タイアップ4色2ページ ●Webサイトへの2次掲載(2014年1月~2014年3月)

料金:280万円 (定価:470万円のところ)

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、上記料金に含まれます。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。

参加特典

「プロジェクト エコ・シティ」勉強会への参加

本プロジェクトに賛同いただいた企業、官公庁・自治体、各業界のキーパーソンを招いての勉強会・懇親会を開催。第一線で活躍している方々と密度の濃い「つながり」の場をご提供します。
 ※10月18日までに申し込みいただいた場合、2013年11月25日開催の勉強会に参加いただけます。



お問い合わせ

日経BP社

建設局広告部

TEL. 03-6811-8034

E-mail: k-ad@nikkeibp.co.jp